本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

50件の電話番号記憶／8桁計算機能

761

取扱説明書

761

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございました。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることはありません。
この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防水性 ●本機は防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

温度 ●直射日光が長く当ったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
●十60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気 ●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけるとアナログ部に一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

お手入れについて

お手入れのしかた ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると ●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●なお、電卓／テレメモ部の電池は正常に作動していても2年に1度は同時に交換されることをおすすめいたします。

液晶パネルの交換について

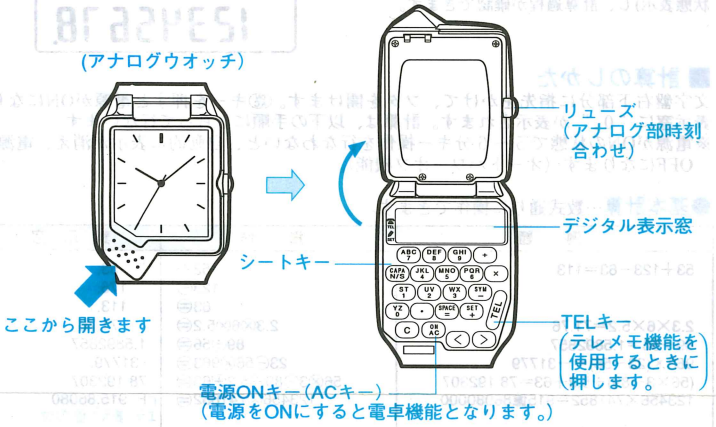
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

データの保護について

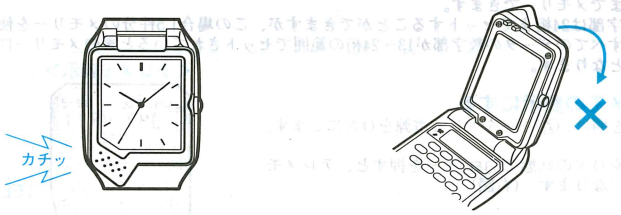
故障、修理、電池交換等に起因するデータの消失による、損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは付属の備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

本機の取り扱いについて

通常は、フタを閉めた状態で、アナログウオッチとして使用します。
フタを開けると、8桁まで計算できる電卓機能、および最大50件までの電話番号を記憶できるテレメモ機能を使用できます。



●フタは、「文字盤の左下」部分に指先をかけると開きます。
※フタを開くときに力を入れすぎますと、故障の原因となることがあります。
●フタを閉めるときは、カチッと音がするまでフタを押してください。



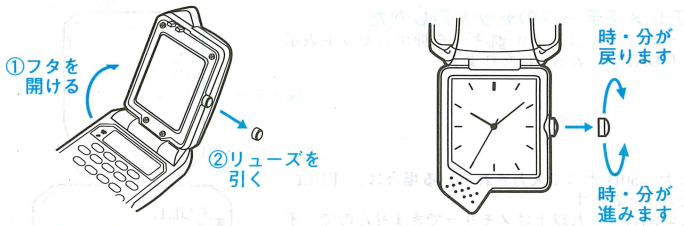
フタを開けたままで本機を激しく動かしますと、その振動によりフタとキー部分をつなぐ部分に力がかかり、故障の原因となることがあります。通常、腕にはめて使用するときはフタを確実に閉めてください。

●本機のキーは指先で操作してください。操作の際、キーに爪をたてたり、ボールペンなど先のとがった器具で押すとキーに不具合を与えることがあります。
●本機のキー部分のパネルについた汚れは、乾いた柔らかい布などで拭き取るなど、定期的に掃除されることをおすすめします。特にパネル外周部は清潔にしてご使用ください。

アナログ時刻の合わせ方

電池交換後などアナログ時刻が合っていないときは次の方法で合わせてください。

リューズを引くと秒針が止まりますので、リューズを回して時刻を合わせます。
(リューズはフタを開け、アナログ部の裏側から指先をかけて引いてください。)



※リューズは右回り、左回りのどちらに回しても大丈夫ですからどちらか近いほうを選んで合わせると早くセットできます。
※時報は、「時報サービス電話117番」が便利です。

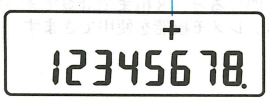
☞時刻セット後は、リューズを押し込み、フタをしっかり閉めてください。

カシオ計算機株式会社

OH07030301A

電卓での計算のしかた

計算は置数、答とも８桁(負数は７桁)で数式通りに操作できます。また、(SET) (SYM) (×) (÷) の各キーを押すと＋－×÷マークがそれぞれ点灯(計算状態表示)し、計算過程が確認できます。



■ 計算のしかた

文字盤右下部分に指先をかけて、フタを開けます。(ON/AC)キーを押すと電源がONになり、表示窓に“０.”が表示されます。計算は、以下の手順にならって行ないます。
※電源がONの状態で５～６分キー操作を行なわないと、自動的に表示が消え、電源がOFFになります（オートパワーオフ機能）。

●基本計算…数式通りに操作できます。

例　題	操　作	表　示　窓
53＋123－63＝113	53⊕ 123⊖ 63⊜	＋ 53. － 176. 113.
2.3×6×5.2＝71.76	2.3⊗6⊗5.2⊜	71.76
89÷56＝1.5892857	89⊘56⊜	1.5892857
963×(23－56)＝－31779	23⊖56⊗963⊜	-31779.
(56×3－89)÷5.2＋63＝78.192307	56⊗3⊖89⊘5.2⊕63⊜	78.192307
123456×741852≒915億86080000	123456⊗741852⊜	E 915.86080 エラー表示　億の位

●定数計算…置数のあとに (SET) (SYM) (×) (÷) キーを２度押すと、その数が定数としてセットされ(Kを表示)、同じ数を足したり、引いたり、掛けたり、また、同じ数で割ったりする計算が簡単にできます。

例　題	操　作	表　示　窓
12＋23＝35	23⊕⊕12⊜	K+ 35.
45＋23＝68	45⊜	K+ 68.
7－5.6＝1.4	5.6⊖⊖7⊜	K− 1.4
2－5.6＝－3.6	2⊜	K− -3.6
2.3×12＝27.6	12⊗⊗2.3⊜	K× 27.6
4.5×12＝54	4.5⊜	K× 54.
45÷9.6＝4.6875	9.6⊘⊘45⊜	K÷ 4.6875
78÷9.6＝8.125	78⊜	K÷ 8.125
17＋17＋17＋17＝68	17⊕⊕⊜⊜⊜	K+ 68.
(2.3)⁴＝27.9841 （※または、“(2.3²)²”として	2.3⊗⊗⊜⊜⊜ 2.3⊗⊜⊗⊜）	K× 27.9841

●訂正のしかた

計算途中の数字の押し間違いは (C) キーを押し、正しく数字を入れ直せば、そのまま計算できます。また、(SET) (SYM) (×) (÷) の押し間違いは続けて正しく押し直します。
※桁オーバーになると、表示窓左に“E”を表示し、小数点は「億の位」を示します。
“E”表示後計算を続けるときは(C)キーを、新たな計算を始めるときは (ON/AC) キーを押します。
☞計算が終了しましたら、カチッと音がするまでフタを押し込んで閉じます。

テレメモ機能の使い方

テレメモ機能は「名前８文字、数字12桁」（または「数字20桁」）までの電話番号等のデータが最大50件までメモリーできます。
なお、数字部は24桁までセットすることができますが、この場合1.5件分のメモリーを使用するため、すべてのデータの数字部が13～24桁の範囲でセットされているときのメモリー件数は最大33件となります。

<テレメ表示>



●テレメモの表示にする

(1) フタを開け、(ON/AC)キーを押して電源をＯＮにします。

(2) 電源をＯＮの状態で (TEL) キーを押すと、テレメモ表示になります。(右図)

●テレメモデータのサーチ

テレメモ表示のとき (TEL) キーを押すごとにテレメモデータが順次呼び出されます。押し続けるとデータが早送りされます。

なお、数字部に数字(電話番号等)が13桁以上メモリーされている場合、(>)または(<)キーを押すごとに数字が送られ、見ることができます。



★イニシャルサーチ
テレメモ表示のとき、呼び出したいテレメモの名前の頭文字を入力してから (TEL) キーを押すと、その頭文字の名前のテレメモが呼び出されます。
※頭文字は１文字だけでなく、数文字(あるいは全文字)入力しても構いません。

※該当する名前のデータがない場合は、“NO ENTRY”と表示されます。



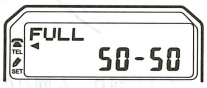
<セット表示>

●テレメモデータのセットのしかた

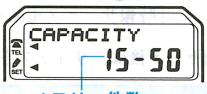
(1) テレメモ表示のとき (CAPA N/S) キーを押すとセット表示（“DATA?”表示）になります。



※なお、50件すべて入力されている場合は、“FULL”と表示されます。
この場合、これ以上はメモリーできませんので、不必要なデータを消去(「メモリーしたデータを消す」参照)してから入力してください。



★メモリー数表示
テレメモ表示のとき、(CAPA N/S) キーを押している間、セットされているメモリー件数を表示します。
(CAPA N/S) キーから手をはなすとセット表示(“DATA?”点灯)になります。テレメモ表示に戻すにはもう一度 (CAPA N/S) キーを押します。
※メモリー使用量が小数のときは、小数部を切り上げて整数表示します。
例) 数字部が13～24桁以内のデータが１件だけメモリーされているときは、右図の表示となります。



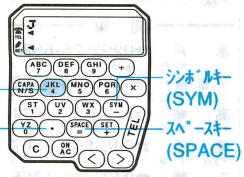


(2)名前部の入力（８文字まで）

名前部には、Ａ～Ｚのアルファベット、数字(０～９)、“－”(ハイフン)、記号(¥、＄、£、→)、空白(スペース)、“.”(ピリオド)が入力できます。

シートを押すごとにキーに印刷された文字が順次表示されますので、入力したい文字を表示させていきます。

例) このキーを押すごとに表示は
Ｊ→Ｋ→Ｌ→４→Ｊ→Ｋ→…
と切り替わります。



●違うキーにある文字を入力する場合は続けて入力できます。
●同じキーにある文字(ＡＢ、ＨＩなど)を続けて入力する場合は、(>)キーで文字の下線(カーソル)を移動させてから行なってください。

例) “ＡＢＥ”と入力するとき → (ABC 7) (>) (ABC 7) (ABC 7) (DEF 8) (DEF 8)
A　B　E

●なお、(SYM) (シンボル)キーを押すごとに「“－”(ﾊｲﾌﾝ)→¥→＄→£→“→”(矢印)…」の順で表示されます。また、(SPACE) (スペース)キーを押すと空白が、(.) (ピリオド)キーを押すと“.”が表示されます。
●間違って入力してしまった場合は、(<)または(>)キーで間違えた部分にカーソルを合わせ(“_”となる)、新たに文字を入れ直します。

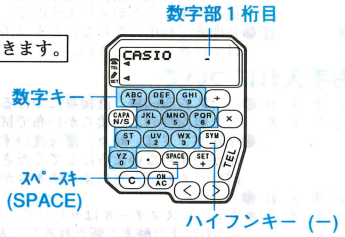
※ アルファベットのＯ(オー)を数字の０(ゼロ)で代用するなど、形の似た文字を名前部に使うと自動編集(自動ソート：並び替え)のときに正しく並び替えできないことがありますのでご注意ください。

(3) 数字部(電話番号)の入力　(24桁まで)

数字部には数字、“－”(ﾊｲﾌﾝ)、空白のみ入力できます。

名前部の入力が終わりましたら、(>)(または(<))キーでカーソルを数字部１桁目に移動させてから、入力(数字)キーを押していきます。入力キーを押すごとに数字が入力され、カーソルが自動的に右に移動します。

入力キー、(>)キー、(<)キーを使って順次データを入力していきます。



(4) 名前、電話番号のセットが終わりましたら、(SET) キーを押します。
→セット表示(“DATA?”)となりますので、続けてセットできます。
※データを入力しないときは、セット表示のときに (CAPA N/S) キーを押してテレメモ表示に戻します。

●データの修正

(1) テレメモ表示のとき、(CAPA N/S) キーを押してセット表示にします。

(2) (TEL) キーを押すとデータが表示されますので、修正したいデータを表示させます。

(3) (<)キーまたは(>)キーでカーソルを修正したい箇所に移動させ、正しく入力します。
(入力方法はデータのセットと同じです。)

(4) 修正が終わったら (SET) キーを押してから、(CAPA N/S) キーを押すと、“自動ソート”が行なわれ、修正完了です。

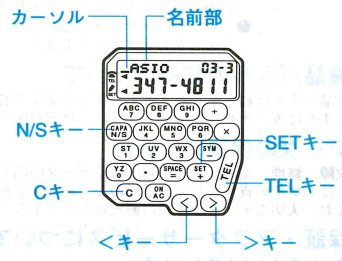
●メモリーしたデータを消す

(1) テレメモ表示のとき、(CAPA N/S) キーを押してセット表示にします。

(2) (TEL) キーを押すとデータが表示されますので、消したいデータを表示させます。

(3) (<)キーまたは(>)キーで名前部にカーソルを表示させ(右図)、(C) キーを押してから (SET) キーを押すとセット表示になり、表示内容が消されます。

(4) セット表示のとき、(CAPA N/S) キーを押すと、テレメモ表示に戻ります。



製品仕様

● 時計部

水晶発振周波数　：３２，７６８Ｈｚ
表示方式　：針式アナログ表示
駆動方式　：ステップモーター方式
主要回路素子　：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップＣＭＯＳ－ＬＳＩ
常温携帯精度　：平均月差±２０秒以内
使用電池　：ＳＲ－６２１ＳＷ（電池別途販売）
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命　：約２年

● 電卓／テレメモ部

計算機能　：８桁加減乗除、定数計算、計算状態表示
テレメモ機能　：電話番号など最大50件までメモリー(名前８文字、数字24桁)、自動ソート機能、イニシャルサーチ
その他　：オートパワーオフ機能
使用電池　：ＣＲ－１６２０（電池別途販売）
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命　：約３３０時間（連続使用）

なお、時計部と電卓／テレメモ部の電池は同時に交換されることをおすすめします。